

2021 年5月号

「
INFOCUS
NEWSLETTER
」

Your physically felt body is in fact part of a gigantic system
of here and other places, now and other times,
you and other people - in fact
the whole universe.

Eugene Gendlin

あなたが体感として感じるからでは、実際には
ここと他の場所、いまと他の時間、あなたと他の人々がつくっている、
とてつもなく大きなシステムの一部なのです —
実際にはそれは、宇宙の全体なのです。

ユージン・ジェンドリン

目次

- ・ フォーカサソン（年次開催）第2回の開催をお知らせします！
- ・ ジェンドリンの遺産を広める
- ・ 理事長ネル・モッフエットからの報告
- ・ ジェンドリン・シンポジウムの概観 by エリック・シヴァソン
- ・ ジェンドリン・シンポジウム全体セッションの10分プレビュー
- ・ 新しいコーディネーターとコーディネーター・イン・トレーニング
- ・ ウィークロング：認定料割引があります！

FOCUS-A-THON

24 hours of focusing around the world

フォーカサソン

フォーカシングが24時間、世界を巡る

アメリカ東部夏時間 5月22日(土) 8:00am (日本時間 5月22日 9:00pm) から

アメリカ東部夏時間 5月23日(日) 8:00am (日本時間 5月23日 9:00pm) まで

世界中のフォーカサーに加わって、フォーカシングマラソンに参加しましょう！

5月22日(土)の東部夏時間8時にはじまって24時間にわたり、経験を積んだフォーカサーたちが、フェルトセンシングの楽しみと、お互いにつながる機会をZoomで提供します。

それぞれの時間で、フェルトセンシングを少し体験することができます。フォーカシングがはじめての人にも十分なインストラクションが、スケジュールに示されている言語で提供されます。英語の翻訳もあります。はじめての人から熟練フォーカサーまで、皆さん歓迎です！

[詳細はこちらをクリック](#)

(訳：久羽 康)



ジェンドリンの遺産を広める

ジェンドリン・シンポジウムは、大成功を収めました

ジェンドリン・リサーチ・センターの活動は、みなさんのご支援なしでは継続できません—
ジェンドリンの遺産を維持・発展させるためのご支援をお願いいたします。

私たちは、より多くの素晴らしい研究に資金を提供し、一流の大学と協力して
より多くの素晴らしいシンポジウムを開催したいと考えています。

今後、皆さんにも参加していただきたい大規模な多集団対象の研究プロジェクトを計画していますが、(詳細は今年中に発表予定)、皆さんのご協力がなければ実現できません。

この企画がさらに展開していくために、それぞれの方にできることをしてくださるよう、お願いします。

ジェンドリン・リサーチ・センターへのご寄付は下記にアクセスしてください。

よろしく願いいたします。

Visit focusing.org/donate

(訳：前田満寿美)

ジェンドリン・シンポジウム

理事長ネル・モッフエットからの報告



やりましたよ！シアトル大学と共同で開催した第1回ジェンドリン・シンポジウムが大成功のうちに無事終了しました。国際フォーカシング研究所 (TIFI) では、フォーカシングの実践、そして最近ではシンキング・アット・ザ・エッジ (TAE) の実践が最も目立つ活動なのですが、同時にジェンドリン・リサーチ・センターは、学術界におけるジェンドリンの哲学の一般的な認知を支援するという使命を展開していく力をも、つけてきました。以下は、TIFI のウェブサイトからの抜粋です。

「2017年にジーン・ジェンドリンが亡くなった直後、TIFIの理事会は、ジェンドリンの遺志を継いでハイレベルな学術研究を推進していく場をTIFI内に創設する取り組みを決議しました。通常私たちは、『ジェンドリン・リサーチ・センター』と呼んでいますが、正式名は、『The Eugene T. Gendlin Center for Research in Experiential Philosophy and Psychology. (体験的哲学と心理学における研究のためのユージン・T・ジェンドリン・センター)』です。」

ジェンドリン・リサーチ・センターは、ここ数年、特定の研究プロジェクトに資金を提供するために助成金を授与してきましたが、丁度今月、ジェンドリン・リサーチ・センターの2つ目の主要な取り組みとして、シアトル大学の哲学科と心理学科の協力を得て開催された「Saying What We Mean: A Symposium on the Works of Eugene Gendlin 「言いたいことを言うこと：ユージン・ジェンドリンの業績についてのシンポジウム」というタイトルの会議に対して助成する決定を明らかにしました。シンポジウムの1週間後に開催された月例理事会では、このイベントの詳細を聞き、共有する機会を得て、私たちのミッション中のこの活動側面を皆さんに公表できることを喜び合いました。

今回のシンポジウムを大成功に導いてくださったジェンドリン・リサーチ・センターのメンバー、そして多くのボランティアの皆さん、ありがとうございました。そしておつかれさまでした。

(訳：前田満寿美)

ジェンドリン・リサーチ・センター

Rob Parker

Joao Messias

Kevin Krycka

Mary Jeanne Larrabee

Akira Ikemi

Leslie Ellis

シンポジウム企画委員会

Kevin Krycka

Eric Severson

Jim Risser

Leslie Ellis

Elizabeth Cantor

Melanie Korpi

Catherine Torpey

全体会プレゼンター

Donata Schoeller

Eric Severson

Bob Scharff

Ed Casey

参加論文

Mary Jeanne Larrabee

Claire LeBeau

Elaine Webster

Akira Ikemi

Greg Walkerden

Gonçalo Moreira

Evelyn Fendler-Lee

Naohiko Mimura

John Newman

Michael Mookie Manalili

Gudbjörg R. Jóhannesdóttir

Luke Jaaniste

(参加論文、続き)

Monika Lindner

Donata Schoeller

Ole Sandberg

Sigrídur Thorgeirsdóttir

Steinunn Hreinsdóttir

Bob Fox

Robin Chalfin

Yasushi Kuba

「ポスターセッション」発表

Riley Paterson

Hideo Tanaka

William B. Gomes

Mark Knickelbine

Yael Teff-Seker

Luke Jaaniste

Maria Emanuela Galanti

Lisa S. Banu

Sean Ambrose

Nikole Koumoutsos

Kaleb Sinclair

Jonathan Wallis

Jan Puc

司会

Eric Severson

Mary Jeanne Larrabee

Jim Risser

通訳

James Doga

Florentina Sassoli

Mariana Písula

Joao Messias

技術的ホスト、録音、

その他の支援

Melanie Korpi

Kamila Jacobs

Vera Lyngmo

Derek Maynard

Darryl Diptee

Agnes Windram

Gabriela Riveros

Kati Singh

Evelien Kroese

Kamila Jacobs

ウォッチパーティのリーダー

Mary Jennings

Elaine Goggin

Rachel Hendron

Nicole Cerulli

TIFI とシアトル大学のスタッフ

TIFI:

Elizabeth Cantor

Melanie Korpi

Kamila Jacobs

Catherine Torpey

Nicole Cerulli

シアトル大学:

Karen Bystrom

Kevin Krycka

Jim Risser

Eric Severson

4月のシンポジウムの概観

ジェンドリンの遺産を祝う

エリック・シヴァソン

いつまでも若々しかったユージン・ジェンドリンが2017年に逝去した時、多くの人たちに明らかだったのは、彼の仕事はまだ終わっていないということだった。実際、先日のシンポジウムはジェンドリンの仕事を称え発展させるものだったがそれを終えた今明らかなのは、彼の考えや精神が今もなお、有意義で生き生きとしエネルギーに溢れ続けていることである。国際フォーカシング研究所ジェンドリンセンターとシアトル大学心理学科・哲学科の共催で行われたこの会議のテーマは、ジェンドリンの没後に出版された本の題名である「Saying What We Mean (言いたいことを言うこと) : ユージン・ジェンドリンの業績についてのシンポジウム」であった。



この集いは元々、シアトル大学構内で対面で、小規模なシンポジウムとして行われる予定であったが、世界的コロナ禍のために劇的な変容を遂げた。国際フォーカシング研究所 (TIFI) が持つすばらしい基盤のおかげで、ジェンドリンの仕事に関する非常に国際的な集いとなったのである。4月8日から10日まで、世界中の幅広く多様な領域の研究者たちが考えを発表し、ジェンドリンの仕事の様々な側面を探索した。30以上の国から約200人が参加したこのシンポジウムは、この週末世界を縮めた。そこで発表された論文やパネルや対話はすべて、ジェンドリンの遺産を尊重し展開するものであった。



エドワード・ケイシーとドナタ・ショラーは、ジェンドリンの論文集『Saying What We Mean (言いたいことを言うこと) : 暗黙の精密さと応答的秩序』(Northwestern University Press 2017)の編者であり、ジェンドリンの業績を研究する指導的学者である。ケイシーとショラーの二人がそれぞれ行った全体講演は説得力のあるものであったが、加えて哲学者であるロバート・シャルフ(ニュー・ハンプシャー大学の哲学名誉教授)と私自身も全体講演を行った。これらの全体講演は、ジェンドリンが、理論も実践も常に進化し再形成することで新しい時代や新しいシナリオや新しい場に進展してもらいたいと望んでいたことを確認し、そのジェンドリンの望みを尊重するものであった。



この集いでは論文発表4セッションとパネルディスカッション1つが行われたが、加えて10の論文発表をそれぞれビデオ録画されたものが会議 website にアップロードされていた。これらの論文発表セッションでは、ジェンドリンのモデルや考えを、心理療法・霊性・批判的人種理論・フォーカシング実践・仏教・ジェンダー研究などの領域に大胆に適用されていた。パネルでは、ジェン

ドリンのプロセスモデルとフォーカシング実践を用いて、私たちが共有している（そして個人的な）環境危機の問題を考えていった。ジェンドリンは厳密な哲学者であった。そして、今回の週末シンポジウムの参加者たちは、ジェンドリンの仕事のこの側面を尊重しており、彼の哲学的洞察に焦点を当ててそれを新しい時代、新しい問題に適用していた。



エリック・シヴァソンは、エマニュエル・レヴィナスの著者を専門とする哲学者である。ワシントン州ケンモア在住、シアトル大学で哲学を教えている。

(訳：日笠摩子)

ジェンドリン・シンポジウムの事後申し込みの受付をはじめました

ジェンドリン・シンポジウム全体会の10分間のプレビュー・ビデオを見ることができます。

フル・バージョンを見たい方は、この下の申し込みボタンをクリックしてください。

申し込みは2021年7月31日まで可能です。

全体会はスペイン語でも聴くことができます。

Register Today

今すぐ申し込みを！



ドナタ・ショラー

「プロセスモデルを基盤に、
意味をなす自由について熟考する」



エリック・シヴァソン

「責任 (responsibility) は含意されているか」



ボブ・シャルフ

「ジェンドリンと、体験から始めること
そしてそのとき見えてくるもの」



エド・ケイシー

「ジェンドリンの思索における
感情 (感じ)、意味、身体、そして情動」



マイルストーン

以下に紹介する新しいコーディネーターとコーディネーター・イン・トレーニングが
国際フォーカシング研究所に加わるのを祝福します。

ここに紹介する方々皆が、今まさに続いている取組みの中で活躍されることを願っています！

新しいコーディネーター



カロリーナ・アデス、アルゼンチン

指導コーディネーター：モニカ・ペレス・イトウラスペ

カロリーナ・アデスは、EmpowerSer と FocusingOnline.com.ar のディレクターです。彼女はカルタス・エクスプレシバス ES という、個人的成長や専門家としての成長のためのパワフルなツールの共同開発者です。24年間にわたって世界中で生活した彼女の経験が、ジーンの哲学を基盤として、コミュニケーションのプロセスを改善するコミュニケーション・モデルを同僚のムリシオ・グティエレス・ネブローニと共同で開発することにつながりました。彼女はスペイン語、英語、イタリア語でフォーカシングを教えており、世界中でフォーカシングの活動とワークショップを企画しています。



ルルド・オルティス、プエルトリコ

指導コーディネーター：エドガルド・リベロス

サポートチーム：マリア・ルイザ・ローシャ・デ・アンドレーデ、アナ・リディア・マフラ・ド・オリベイラ

ソーシャルワークの修士と牧会神学の認定を持つルルドは、人間の豊かさのためのカバラス派の方法論の認定も受けています。彼女はラテンアメリカの恵まれない地域で宣教師や社会的プロモーターをしており、またアメリカのヒスパニック系移民の問題に取り組んでいます。

家庭内暴力の被害者を支援しているジュリア・デ・ブルゴス・プロテクトド・ハウスでは、彼女は子どもとカウンセリングのプログラムのコーディネーターをしています。彼女は現在、ヒューマン・ディベロップメント研究所の理事です。



リア・ザガース、ベルギー
指導コーディネーター：ナダ・ルー

リアはベルギーで、心理学者、心理療法家、フォーカシング・トレーナーおよびコーディネーターをしています。彼女はフォーカシングを導きとしてきました。彼女の目標はフォーカシングを、バックグラウンドに関わりなくすべての人にアクセス可能なものとする事です。彼女はまた、自分の教えている生徒がさまざまな世界でフォーカシングを広められるよう導いています。リアはアートと自然の中に内なるつながりの助けとなるものを見出しており、フォーカシングは毎日の生活の足がかりとなっています。彼女は PFP 認定を、より多くの方が TIFI を知りそこにつながるための機会と考えています。

新しいコーディネーター・イン・トレーニング

Katherine Kot, 香港
Florentina Palada, ルーマニア
Georgeta Niculescu, ルーマニア
Serge Prengel, アメリカ

(訳：久羽 康)



熟練者と認定のためのウィークロング オンライン

2021年7月19日～24日

認定料割引があります！

もしあなたが 2017 年 1 月以降に TIFI に認定料を支払っていて、なおかつまだウィークロングに参加をしたことがなければ、300 ドルの控除が受けられます。

この割引を適用する場合には、申し込みの前に Rita@focusing.org にメールでお伝えください。

REGISTER HERE